

妹背牛町 公共施設群マイクログリッド構想

～ 地域再エネを活用したレジリエントな地域づくり ～

北海道妹背牛町
企画振興課 大崎 剛典

妹背牛町概要



- 人口約2,600人／北空知地域に位置
- 北海道内で3番目に面積の小さい町
- 米作りが盛んで、農地面積比率74%
- 「妹背牛温泉ペペル」「妹背牛町カーリング」
「遊水公園うらら」などの観光資源がある



- 防災拠点としての公共施設を強化
- 災害時の電力確保とレジリエンス強化
- CO₂排出削減と脱炭素化の実現
- エネルギーの地産地消と経済活性化



公共施設群【妹背牛町役場（総体・トレセン・老福・保セン）、カーリングホール、温泉、米穀乾燥調製施設】で、太陽光発電によるマイクログリッドの構築に向けて進めている。

○事業のスケジュール感

R7 電気需要量等の整理（道の支援を活用）

R8 基本設計

R9 実施設計

R10以降工事予定

マッチング相手(求める企業像)



- ① コーディネーター企業／地域共創コンサル
- ② マイクログリッド設計
- ③ 再エネ設備メーカー／施工業者
- ④ 資金調達・脱炭素コンサル